

事後評価対象課題一覧（2017年度終了課題）
革新的がん医療実用化研究事業

2018年3月31日時点の情報

開始年度	終了年度	研究開発代表者	機関名	研究開発課題名
<領域1>がんの本態解明に関する研究				
2015	2017	赤司 浩一	九州大学	RNA絶対定量による微小環境解析に基づくびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の層別化および新規治療法の開発
2015	2017	足立 淳	医薬基盤・健康・栄養研究所	酵素活性プロテオミクスを用いた新規がん治療標的の探索と治療法開発
2015	2017	新井 郷子	東京大学	マクロファージ由来タンパク質AIM によるがん細胞の除去機構を利用した肝細胞がん治療法の開発
2015	2017	大谷 直子	大阪市立大学	肥満誘導性肝癌の微小環境における脂質代謝物を標的とした治療戦略
2015	2017	河野 隆志	国立がん研究センター	ゲノム診療体制の構築を目指したAYA 世代がんのリスク要因・治療標的の同定と検査系の開発
2015	2017	酒井 敏行	京都府立医科大学	がん免疫療法との併用による分子標的薬の治療抵抗性の克服
2015	2017	西川 博嘉	国立がん研究センター	T細胞応答の多様性回復によるがん免疫併用療法の開発
2015	2017	前田 優香	国立がん研究センター	悪性黒色腫局所の微小免疫環境の本態解明に基づく革新的がん免疫療法の開発
2015	2017	間野 博行	東京大学	AYA 世代急性リンパ性白血病の発症機構解明と治療標的の同定
<領域2>がんの予防法や早期発見手法に関する研究				
2015	2017	川名 敬	日本大学	ゲノム・エピゲノム解析による子宮頸癌前駆病変（CIN）患者の子宮頸癌発癌リスクの特定とそれに基づくCIN患者の個別化リスク低減法に関する研究
2015	2017	佐川 元保	東北医科薬科大学	低線量CT による肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験および大規模コホート研究
2015	2017	松尾 恵太郎	愛知県がんセンター	個人の生活習慣等の環境要因と遺伝的リスクを考慮した科学的根拠に基づく効率的な乳がん予防法の開発研究
<領域3>アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤開発に関する研究				
2016	2017	石坂 幸人	国立国際医療研究センター	安全なゲノム編集システムの開発とがん免疫療法への応用
2015	2017	市村 幸一	国立がん研究センター	TERT を標的とした新規阻害剤の悪性脳腫瘍に対する臨床応用を目指した研究
2014	2017	小川 千登世	国立がん研究センター	難治急性リンパ性白血病に対するボルテゾミブ追加多剤併用療法の国内導入（医師主導試験）
2015	2017	影山 慎一	三重大学	CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第II相臨床試験
2015	2017	小賤 健一郎	鹿児島大学	肉腫への革新医薬実用化を目指した独自開発の増殖制御型アデノウイルスの医師主導試験
2015	2017	近藤 科江	東京工業大学	低酸素誘導転写因子が活性化した悪性がんの根治に向けた新薬開発
2015	2017	後藤 功一	国立がん研究センター	RET融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に対する新規治療法の確立に関する研究
2016	2017	近藤 亨	北海道大学	miRNA制御Crispr/Cas9発現依存的にがん幹細胞機能因子群をゲノム編集する新規がん治療用ベクターの開発
2016	2017	佐久間 哲史	広島大学	癌関連遺伝子の発現を多重制御するエピゲノム編集ベクターの開発と応用
2017	2017	佐藤 暁洋	国立がん研究センター	ゲノム等のバイオマーカー情報に基づく希少がん・希少フラクション領域の臨床開発を促進するための基盤整備研究
2016	2017	篠原 美紀	近畿大学	ゲノム編集効率向上の為の細胞環境とゲノム編集ベクター改良のトータルパッケージ開発
2015	2017	藤堂 具紀	東京大学	革新的抗がんウイルス療法の実用化臨床研究
2015	2017	永井 宏和	名古屋医療センター	再発又は難治性のALK陽性ALCLに対するアレクチニブ塩酸塩の開発
2017	2017	永瀬 浩喜	千葉県がんセンター	KRAS遺伝子変異標的新規抗癌化合物KR12の開発研究

開始年度	終了年度	研究開発代表者	機関名	研究開発課題名
2016	2017	中西 真人	産業技術総合研究所	ステルス型RNAベクターを利用したAll-in-One型ゲノム編集ツールの開発
2015	2017	堀之内 秀仁	国立がん研究センター	胸腺癌、胸腺腫に対する抗PD-1 抗体ニボルマブ適応拡大のための研究
2016	2017	間世田 英明	産業技術総合研究所	自己ゲノム編集機構を利用した安全性の高いゲノムデザイン技術の開発
2017	2017	益谷 美都子	長崎大学	PARG-poly(ADP-ribose)集積を標的とする新規抗がん剤の開発研究
2015	2017	松島 綱治	東京大学	がん会合性マクロファージ制御フロント阻害薬の臨床開発研究
2015	2017	三森 功士	九州大学病院別府病院	トリプルネガティブ乳がんの転移後増殖をターゲットとした新規抗がん剤の開発
2015	2017	宮田 敏男	東北大学	慢性骨髄性白血病に対する根治薬の臨床開発研究
2015	2017	矢野 聖二	金沢大学	RET融合遺伝子陽性肺癌に対するアレクチニブの有効性を明らかにする研究
2016	2017	矢野 聖二	金沢 大学	BIM遺伝子多型に起因するEGFR変異肺癌のEGFR阻害薬耐性をボリノスタット併用で克服する研究
2017	2017	山田 哲司	国立がん研究センター	がん幹細胞の遺伝子転写を標的とした新規分子標的治療薬の開発
2015	2017	和田 尚	大阪大学	がん免疫療法における抗CCR4抗体によるTreg除去療法—抗体単独療法から複合免疫療法への医師主導治験—
<領域4> 患者に優しい新規医療技術開発に関する研究				
2015	2017	絹谷 清剛	金沢大学	悪性神経内分泌腫瘍に対する131I-MIBG 内照射療法の開発
2015	2017	佐治 英郎	京都大学	がん診断から治療への効率的ワークフロー構築のための核医学分子イメージング法を用いる高度画像診断システムの確立
2015	2017	橘 英伸	国立がん研究センター	光子線を用いた放射線療法のすべての治療装置に対応した患者個々の治療の品質保証法の確立
2015	2017	溝脇 尚志	京都大学	Dynamic WaveArc 照射技法を用いた革新的放射線治療法の確立
<領域5> 新たな標準治療を創るための研究				
2015	2017	加藤 健	国立がん研究センター	局所進行食道癌に対して、治療の有効性向上を目指した新しい術前治療を確立する研究
2015	2017	北川 雄光	慶應義塾大学	臨床病期I/II/III食道癌（T4を除く）に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験
2015	2017	藤原 康弘	国立がん研究センター	新規抗がん剤のPK/PD/PDxに基づく適正使用と安全性確保に関する研究
2015	2017	松村 到	近畿大学	チロシンキナーゼ阻害薬による慢性骨髄性白血病の治療を目指した研究
2017	2017	吉川 貴己	神奈川県立がんセンター	胃癌補助化学療法の期間短縮を目指した非劣性ランダム化比較第III相試験
<領域6> ライフステージやがんの特性に着目した重点研究				
2015	2017	岩佐 悟	国立がん研究センター	側方骨盤リンパ節転移陽性の難治性下部直腸癌の予後改善を目指した治療法に関する研究
2015	2017	岡本 浩明	横浜市立市民病院	高齢者の小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究
2017	2017	小野田 尚佳	大阪市立大学	甲状腺未分化癌の標準的治療法の開発に向けた全国的組織を用いた医師主導臨床試験の企画
2015	2017	河上 裕	慶應義塾大学	進行期悪性黒色腫(末端黒子型)に対する非骨髄破壊的前処置併用での腫瘍浸潤T リンパ球輸注療法の安全性試験
2017	2017	菊田 敦	福島県立医科大学	小児再発・難治性白血病に対する低用量抗胸腺細胞免疫グロブリンを用いたT細胞充満HLAハプロ移植の多施設共同非盲検無対照試験
2017	2017	越永 従道	日本大学医学部	標準治療開発を前提とした小児腎腫瘍に対する新規リスク分類確立のための国際共同臨床研究プロトコール作成
2015	2017	小林 良二	札幌北楡病院	小児リンパ腫の標準的治療法確立のための研究
2015	2017	高橋 進一郎	国立がん研究センター	Borderline resectable 膵癌の集学的治療法確立に関する多施設共同研究

開始年度	終了年度	研究開発代表者	機関名	研究開発課題名
2017	2017	長谷川 好規	名古屋大学	悪性胸膜中皮腫に対する血管新生阻害剤の効果予測モデル構築に基づく新治療法確立に関する研究
2017	2017	村松 秀城	名古屋大学	「一過性骨髄異常増殖症(TAM)に対する化学療法および白血病発症予防法の確立を目指した第2相臨床試験」開発を目指した臨床試験立案研究
2017	2017	宮村 能子	大阪大学	乳児期発症の急性リンパ性白血病に対する国際共同第III相臨床試験に向けた多施設共同パイロット第II相臨床試験の作成研究
2015	2017	山口 素子	三重大学	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の新規難治性病型に対する治療研究
2017	2017	湯坐 有希	東京都立小児総合医療センター	「新規診断小児急性前骨髄球性白血病における化学療法剤減量を目指した第2相国際共同臨床試験」開発のための臨床試験立案研究

※各領域、五十音順